

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 2 月 28 日

事業所名 デイサービスセンターなかま

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		利用人数よりも広いスペースで療育を行っていると感じています。職員が全体を把握できるような広い空間になっています。
	2	職員の配置数は適切である	1	3		保育士、児童指導員等が在籍しており、規定数は満たしていますが、勤務の状況により手薄と感ずることもあります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			基本的にはバリアフリー仕様になっています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		4		職員全員で行っていますが、取り組む姿勢に個人差はあります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			年に一回評価表を活用したアンケート調査を実施し、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			三月にホームページにて公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4	第三者による外部評価は受審しておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		3	1	外部研修は希望者を募り参加するようにしています。今後は、より多くの職員が参加できるように職員体制も整えていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			アセスメントの時間がとれず、計画を立てるまでに時間がかかることもあります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	3		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標・工夫している点
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2		利用時間や利用者の特性に合わせた課題を設定しています。またその日の利用者の状況に合わせて適宜課題の変更も行なっています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1		各所からの情報を取り入れ、季節に合った工作や調理、感覚遊び等の療育を行っています。長期休暇は買物体験や施設見学など、屋外での活動も取り入れるようにしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		児童の個性を尊重しながら、個別活動と集団活動のどちらも負担なく参加できるように計画しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		支援開始前に、活動内容や支援に必要な情報の確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3		職員全員が揃う時間が一定でない為、振り返りが翌日になることもあります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		連絡帳及び業務日誌に担当者が記録を行っています。その結果を踏まえて、日々の支援を検討しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	2		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている			4	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		担当者会議前に、職員間で話し合い、情報を整理したうえで、児童発達支援管理責任者が参加しています。	
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			学校によっては、担任の先生とお会いできる機会が少なく、送迎時の対応にばらつきがあります。トラブル発生時の連絡が遅れることもあります。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			4	医療的ケアの必要な子どもの受け入れは行っていません。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標・工夫している点
関係機 関や保 護者 との連 携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている		3	1	就学前には必要に応じて移行支援会議を 行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	3	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている		1	3	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る			4	発達状況や、障害特性により交流が難し い為実績はありません。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参 加している	1	2	1	育つ部会研修会等に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	4			送迎時に利用者の状況をフィードバック したり、家庭や学校での状況や課題につ いて情報を共有させて頂いています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	1	2	1	必要に応じ、送迎時または連絡帳を通し て支援方法などの助言を行っています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3		1	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	3	1		定期的な面談の他、保護者から相談があ ればその都度相談に応じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している			4	コロナ感染拡大防止の為実施していま せん。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	3	1		苦情があった場合、職員間で状況の共有 確認を行い、迅速に改善策を検討し、保 護者に周知しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	2	2		活動の様子を写真入りで紹介した『なか ま通信』を発行しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標・工夫している点
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4	コロナ感染拡大により、配慮することが多いため、今年度は実績がありません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		4		マニュアルは整備されているが、保護者への適切な説明がされていない状況です。玄関に提示し、いつでも確認できる形で周知していきたいと考えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			事業所全体で、年に2回避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1		虐待防止チェックリストを活用し、職員の意識啓発に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1		契約時に身体拘束に係る説明を行い、やむを得ない場合の一時的な手段として承諾も得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		2	1	必要に応じて対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			